



令和5年度
一般会計決算

まちの家計簿

町では昨年度、集落支援、子育て支援、保健・医療・福祉の連携、学校教育、町のにぎわい創出など、安心と活力あるまちづくりに、約 38 億 3640 万円を支出しました。
町がどのようにお金を使い、どのように生かされたのかお知らせします。

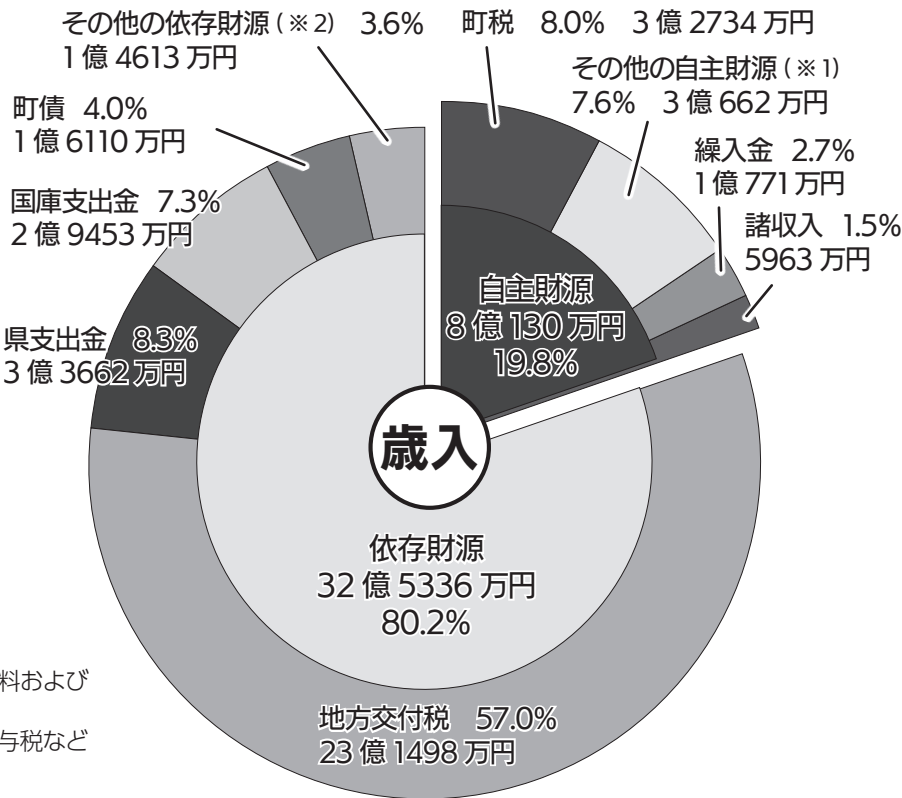
一般会計

1 CHECK 一般会計歳入

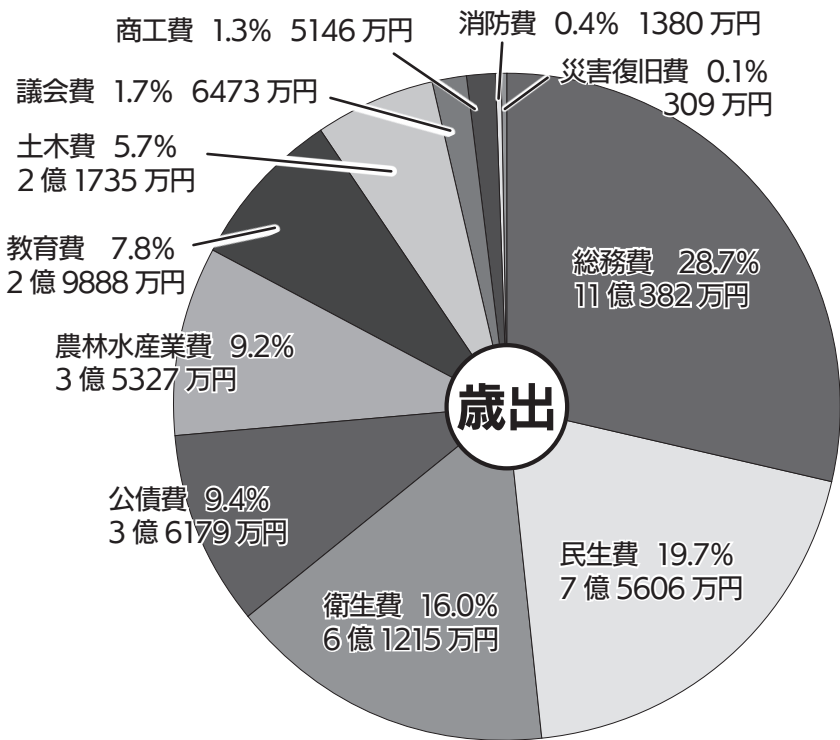
令和5年度一般会計の歳入総額は、前年度と比べ約 16.3%減の約 40 億 5466 万円。
前年度と比べると、
・地方交付税などの国や県に依存する財源は約 22.2%減。その中で、国から交付される地方交付税は歳入総額の約 57.0%と大きな割合を占めています。
・町税などの自主財源は、約 21.0%増。町税は 3 億 2734 万円（前年度比 0.3% 減）で、繰入金 は 1 億 771 万円（前年度比 54.2% 増）です。
依然として、地方交付税などの依存財源に頼っているのが現状です。限られた予算の中で、町の特色を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。

※1 その他の自主財源内訳…分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄附金、繰越金
※2 その他の依存財源内訳…地方消費税交付金、地方譲与税など

一般会計歳入総額 40 億 5466 万円



一般会計歳出総額 38 億 3640 万円



2 CHECK 一般会計歳出

令和5年度予算は、「第2次きらり日野町創生戦略」のもと、日野町における地方創生の実現を目指しました。歳出総額は、前年度と比べ約 17.5%減の約 38 億 3640 万円となりました。
歳出全体に占める割合でみると、教育費が約 2 億 9888 万円（前年度比 76.3% 減）、商工費が 5146 万円（前年度比 42.1% 減）で、大幅に減少。民生費が 7 億 5606 万円（前年度比 12.4% 増）、消防費が 1380 万円（前年度比 24.2% 増）、公債費が 3 億 6179 万円（前年度比 13.9% 増）で、大幅に増加しました。
長期的な計画に基づき、借金返済額（公債費）が大きな負担にならないよう財政運営をすすめていきます。

特別会計

3 CHECK 特定の目的を持った会計

町には一般会計とは別にそれぞれで運営されている6つの特別会計があります。令和5年度の決算は右表のとおりです。令和5年度は一般会計から合計約2億3893万円を繰り出しています。前年と比較して約1135万円増加(5.0%増)しました。

会計名	決算額		歳入歳出差引額	前年度比
国民健康保険特別会計	歳入	3億4821万円	355万円	△3.1%
	歳出	3億4466万円		△2.0%
介護保険特別会計	歳入	6億2500万円	4855万円	0.8%
	歳出	5億7645万円		1.9%
後期高齢者医療保険特別会計	歳入	5790万円	17万円	2.0%
	歳出	5773万円		1.9%
簡易水道特別会計	歳入	7372万円	105万円	△4.1%
	歳出	7267万円		△5.5%
公共下水道事業特別会計	歳入	9161万円	33万円	△3.2%
	歳出	9128万円		△3.5%
農業集落排水事業特別会計	歳入	4032万円	86万円	△8.4%
	歳出	3946万円		△10.3%

財政健全化比率・まちの貯金

4 CHECK 家計のやりくり度をチェック！

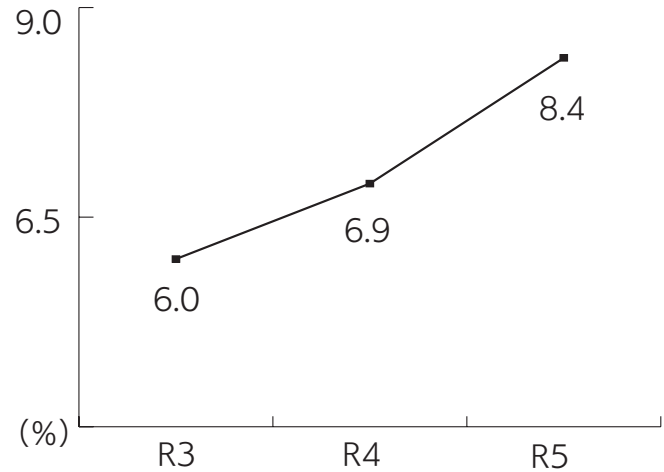
4つの指標で自治体の財政健全化を表す「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和5年度の各比率を公表します。

4つの指標のうち、1つでも国が定めた基準を超えた自治体は「財政再生団体」または「健全化団体」となりますが、日野町はすべての指標で基準を下回っています。

日野町の財政4指標の数値(令和5年度決算)

	財政再生基準	早期健全化基準	日野町
実質赤字比率	20%以上	15%以上	—
連結実質赤字比率	30%以上	20%以上	—
実質公債費比率	35%以上	25%以上	8.4%
将来負担比率	—	350%以上	—

実質公債費比率の推移(過去3年)



実質赤字比率 … 財政規模に対する一般会計などの赤字の占める割合を表します。

連結実質赤字比率 … 財政規模に対する一般会計、特別会計を含めた全会計の赤字の占める割合を表します。

実質公債費比率 … 各自治体における財政負担の度合いを判断する指標。1年間の収入に対する借金返済の負担割合です。

将来負担比率 … 各自治体が将来負担すべき負債が、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す指標です。

5 CHECK いざという時の備えに

町では、目的別に財政調整基金や町営バス購入基金、観光振興基金、愛と元気の日野町ふるさと基金(ふるさと納税)など、毎年基金を積み立てています。その額は、今年度36億円を超えました。



しかし、老朽化した公共施設の修繕や改修、そしていつ災害などに見舞われるかわかりません。町の公共施設の長寿命化を図る町公共施設等長寿命化基金や財政推計をもとに、今後も長期的な計画に基づき基金を積み立てながら、効果的な基金の活用を図ります。

まちの基金(貯金)残高(過去3年)

